



国際人とは

ご存知の通り、先日、ボストンでは大変な事件が起きました。何故、彼らがこのような事件を起こしたのかは不明ですが、一部報道によれば移民の妬みではないか？とも言われています。

このボストン事件の犯人はチェチェン共和国出身。10年以上も前に米国に移り住んだということでした。しかしながら犯人兄弟の兄は、アメリカでボクシングのオリンピック代表を目指す程の腕前を持ち、弟は人気者、成績優秀で奨学金も得ていたとか...？移民としてアメリカでの生活に不満が無かったように推測される彼らに何があったのでしょうか？

ところで.... 私は当校のキッズクラスの親御様に「なぜお子様に英語を習わせたいのか？」という質問を差し上げることがございます。すると多くの方が「国際人になってほしいから」、「将来、必要だから」とお答えになります。ですが具体的に「国際人」とはどういう人々を指すのでしょうか？何ができれば「国際人」なのでしょう？

余談ですが、私は以前、単身でカンボジアに住んでおりました。周りに日本人は1人もおりません。英語も日本語も殆ど通じません。ですがだからこそ、私はあえてあの地を選びました。「国際人」とは何なのかを知るために...。日本に比べて未だ貧困である生活。電気が通らないことも多々。紛争の足跡の数々。気候も生活習慣も考え方も日本とは全く異なりました。公共サービスですら各自の判断で勝手にストップされることも多々。「日本ではこんなことあり得ない！」と主張しても何の効果もありませんでした。そこで1人で生活する以上、私には現地の皆さんの支えが必要です。現に、夜に密林のジャングルの中で道に迷い、電灯も無い所で保護されたこともありました。彼処では、皆の支持が得られなければ、完全に孤立でした。そんな中、私は周囲の考え方や習慣を尊重しながらも、自分の意見はしっかりと言い、どうしたら理解が得られるかを学びました。

「英語が話せれば国際人」... このような考えは余りもナンセンスです。それならば英語圏に住む人々は、全員が国際人だ、ということになってしまいます。そんなことはあり得ません。事実、アメリカではパスポートを持っていない方は（海外に出た事がない）大勢います。あの広い国では、国内旅行だけでも様々な場所に行くことができ、「わざわざ海外に出る必要はない」と考えているのです。

繰り返しますが、「英語が話せれば国際人になれる」訳ではありません。何故ならば、それで文化背景や習慣の違いを理解できる、ということではないからです。上のボストン事件の兄弟は英語を流暢に扱っていたにも関わらず、Twitter上で「アメリカで1人も友達ができない」と呟いていたと言います。

真の国際人であるためには、「他国の宗教や習慣、価値観を尊重したい」という要求を持つことが大切でしょう。「郷に入れば郷に従う」覚悟も必要です。国内にいる以上に、相手への細やかな配慮も必須です。柔軟性と忍耐力が問われます。何せ、これ迄のご自身の生活習慣や価値観とは異なることが要求されるのですから....

自分の信念を曲げない強さと、相手を受け入れる柔軟性。このバランスの取り方は、恐らく英語習得以上に困難なことでしょう。

グローバル化が進む中、英語を身に付けるだけでは「国際人」にはなれません。お子様には、英語習得と同時に彼らの人間的な幅を広げることが大切です。それで初めて、真の「国際人」となれるのです。

Atsuko Saffell



Cafe information!

カフェのお知らせ

ヘーゼルナッツラテ

大人気、ヘーゼルナッツラテがメニューに返ってきました！マイルドな味わいに仕上がっていますので、お子様や甘党の方にオススメです。

テイクアウトも出来ますのでぜひ一度お試しください♪

コーヒーは苦くなきゃ！という方にエスプレッソもご用意していますよ！深い味わいのコーヒーでぱっちり目を覚ましちゃいましょう☆



School Information

スクールからのお願い

レッスンの開始及び終了時刻には、多くのお子様、保護者様で入り口付近が混雑致します。全てのお子様スタッフの目が行き届かない場合がございますので、ご送迎にはお時間通りにお越し下さい。また、車が行き交い大変危険ですので、駐車場では走り回ったりなさいませぬようお願い申し上げます。

より安全な環境作りのため、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。